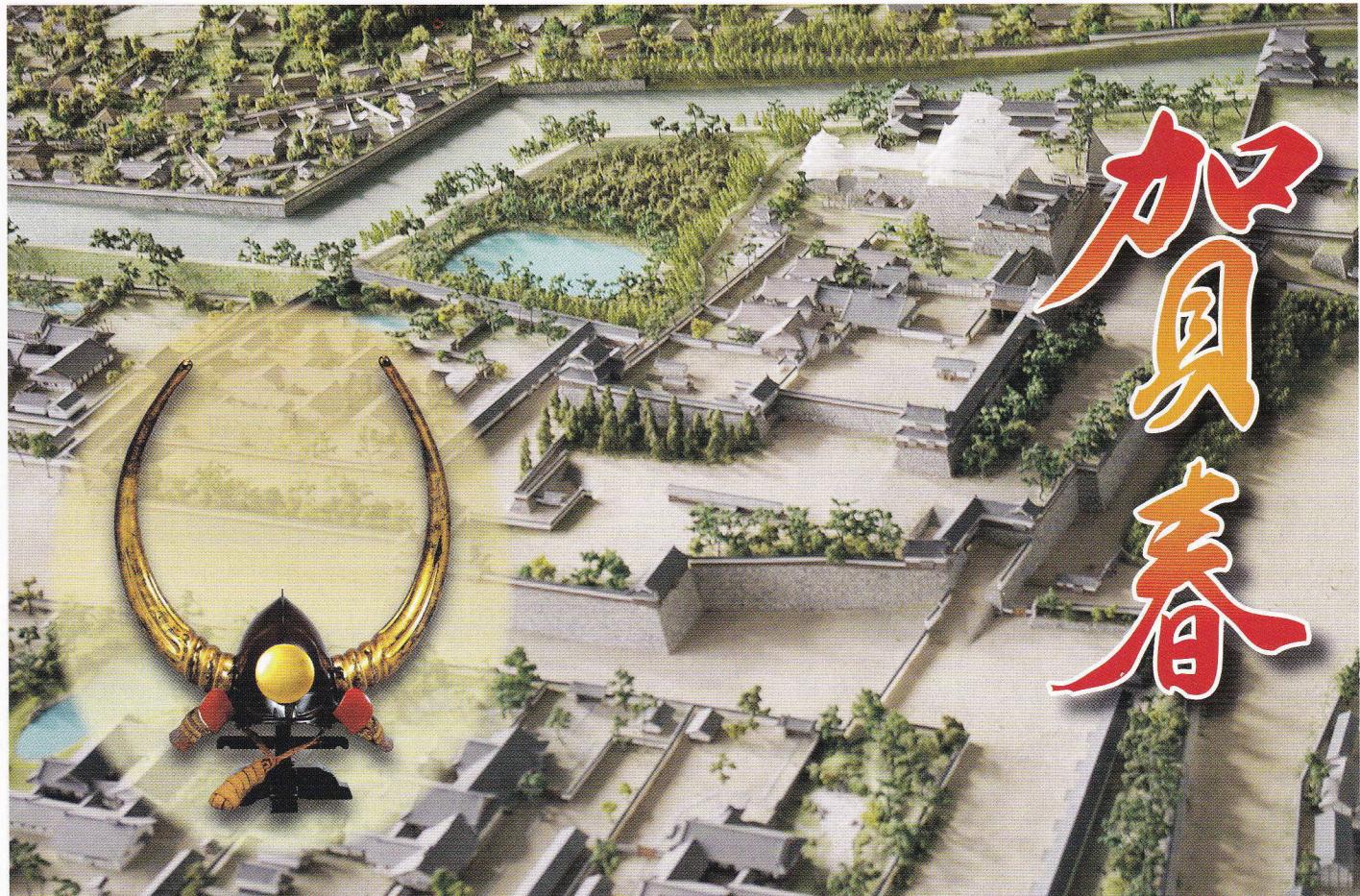


福岡城に天守閣を  
— 城のある都市復活!! —

# お城たごどり

2010年1月  
No.24



福岡城本丸御殿（模型：しんわ福岡城資料室より）と黒田長政所用・黒漆塗桃形水牛脇立兜（福岡市博物館蔵）

昨年は「おおほりまつり」に参加し、黒田長政公に扮して西公園・光雲神社からNHK福岡放送局まで黒田二十五騎武者行列をする貴重な体験をさせていただきました。鴻臚館や黒田藩の歴史を振り返り、今に伝えながら郷土愛を育むとともに、地域をあげて賑わい創りに取り組まれるという、わが街を愛してやまない地域住民の皆様の熱意に心を打たれるとともに、深く敬意を表します。

近年では、歴史遺産や伝統文化、自然、食など地域資源を活用した取り組みが盛んになっていています。福岡商工会議所では、地域の商店街や自治会、ボランティア等と一緒に、「街なか観光」を推進しています。地域独自の歴史・文化を見て・聞いて・体験することを通して、福岡の都市観光の魅力を増進するとともに、地域の活性化につなげていきたいと思います。

国際化や経済のグローバル化が進展するなか、とりわけ地理的にアジアに近接している福岡においては、今後さらに人的・物的交流が拡大してまいります。これら内外の観光客の方々にも、福岡とアジアとの交流の歴史にも触れていただき、ますますアジアのゲートウェイとして経済・文化の交流拠点として発展していくことを期待しております。



福岡商工会議所は、明治十二年に設立され、昨年百三十周年を迎えた。これまで、地域の活性化や地域経済の発展のために取り組んでまいりましたが、市民や企業のご支援のおかげと感謝いたしております。

福岡商工会議所  
会頭

河部 浩幸

福岡の強みを活用した地域活性化

## 「市民参加の古代官道調査・活用事業」ハイライト

お城だより前号で報告した「市民フォーラムin福岡」に引き続き、十一月は多彩な活動が行われました。

【市民フォーラムin太宰府・筑紫野】  
11月11日（水）13時30分～16時00分



筑紫野市生涯学習センターさんあい

ホークで、「万葉集と古代官道」をテーマにした講演会を行いました。7世紀から8世紀といえ、万葉集も古代官道も

最盛期です。万葉歌人が古代官道の各地で歌っていますので、万葉集を紐解けば当時の古代官道の状況が浮かびあがってきます。

水城では任期を終えて都に帰る大宰師（だざいのそち、大宰府の長官）大伴旅人が、愛しい人と別れを惜しんで「ますらをと、思える我や、水茎（みずくき）の、水城（みづき）の上に、涙拭（のこ）はむ」と歌っています。水城の西門か東門が送別の場所になつていています。

太宰府発見塾長森弘子氏の「太宰府あたりの古代官道を見つけよう」、いずれも映像を駆使した興味深いスピーチで、しかも歌と場所がリアルに結びつくという、初めてのコラボレーション。約百二十名の参加があり大変好評でした。

「ファイナルドワーク」が4回行われました。

### 第一回 太宰府・豊前路ルート 11月7日（土）9時00分～12時00分

太宰府政厅跡からスタート。戒壇院、觀世音寺と千年前に政治・宗教の最も重要な施設の並んでいたところ。東に抜ける石坂越えルートを望みながら、九州国立博物館まで秋色深まる古道ウオーキングでした。山村信榮氏の当時を髪飾させるような解説付き。参加二十二名。

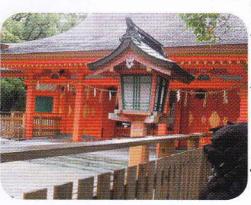
### 第二回 大宰府路・東西横断ルート 11月14日（土）9時00分～12時00分



日本で一番古い「住吉さん」、住吉神社集合。博多と鴻臚館を結ぶ重要古代官道がこの門前を通っていました。ここから東北に向かう。延喜式に載っている美

野（よしの）駅は今の博多駅と一致。美野駅は博多・鴻臚館・大宰府・山陽道4方面の十字路で、交通の要衝は今も昔も変わりません。ここから都に向かう大路「山陽道」は御笠川を渡り、直線路で夷守（ひなもり）駅に向かっています。東光院などの寺社も観きながら、日守神社までは万葉歌碑がありました。福岡市教育委員会吉留秀敏氏の解説。参加二十六名。

### 第三回 壱岐対馬路・東西横断ルート 11月21日（土）9時00分～12時00分

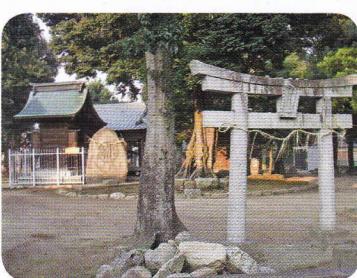


九電体育館前からスタート。ここから早良平野を一直線に抜け、壹岐、対馬に向かうこの官道は朝鮮半島につながる国際ルートでした。浄水通り上から大休連山越え、今の動物園付近の山越えをし

て樋井川を渡り、九大田島寮前から約四キロ、有田・小田部まで古代の直線道路が歩ける貴重なところです。多少の山坂があつても直線にこだわった奈良・平安時代のいわば高速道路です。時速20キロ

で馬が飛ばしたのでした。後の太閤道にも使われました。途中七隈緑地の切り通しでは、この辺やや南で水室の遺跡があつたそうで、鴻臚館の賓客もオレンザロックの冷酒を嗜んだものか。原の辺で一致する国道202号のほうが曲がっています。高台の有田地区は古代から重要なところ、早良郡家官衙（ぐうけかんが、郡役所の官庁街）のまさに発掘中を見学。大きな門の跡らしい。吉留秀敏氏の解説。参加二十二名。

### 第四回 水城西門・東門バイパスルート 11月28日（土）9時00分～12時00分



西門ルートが鴻臚館と大宰府を結ぶ外国使節等を迎える迎賓道路だったのに対し、東門ルートは山陽道や博多の港から大宰府に通じるいわば通用ルートだったのでしょうか。鴻臚館や壹岐対馬路から最短距離で大宰府に入るため、西門ルートの途中から東門ルートにバイパスするルートができたようで、この道はその後も使われてきました。「西の宰府みち」もほぼこのルートです。西鉄井尻駅から地禄神社、本行院を経て、筒井の地名のもとになつた「筒井の井戸」などを経て、水城東門まで辿りました。吉留秀敏氏の解説。参加二十五名。

### 「ワークショップ城（き）の山道」

万葉集にも出てくる大宰府から基山城麓を通つて筑後国府（久留米市）に至る西海道西路といつて肥後・薩摩に通ずる道の山越えルート。島松尚宏理事長（歩かんね太宰府）が中心になつて地元の皆さんと討論中です。ですが、九州大学森誠子さんの調査表など片手に永岡公民館での集会です。10日には30名ほどが集まりました。

### 「大募集 発見・論説・提案・創作」

市民の皆さんから情報を募集しています。例えば小字名などの地名です。車地・車路は古代官道のあつたところでしょう。立石、道の距離標のような石の立つていたところか。

ハヤマは早馬つまり駅のあつたところ。大人足形は巨人伝説、早馬で駅と駅を一飛びに走つた：このほか大道などです。情報お待ちしています。随時事務局にお送りください。報告書・発表会でも使わせていただきます。

「古代にも高速道路があつた」出来上がりました。今後は子供達や学校の皆さんにも伝えたいのです。

### 「市民シンポジウム」（成果発表会）

平成22年2月11日（木・祝）13時00分～16時00分  
天神ビル11Fホール

盛り沢山のテーマで計画進行中です。

### 「ワークショップ長丘」 9月15日（火）、11月10日（火）

お問い合わせ

092-716-8238

# 福岡城探訪

福岡藩中興の名君主

藤 金之助

## 六代黒田継高



宣政の養嗣子

となつて五年  
後の享保四年  
(一七一九年)  
十一月、継高が  
十七歳で六代福

岡藩主となる。

これより実に五十一年の永い間藩主の  
地位にあり、江戸時代中期の藩政を担  
うことになる。

継高が藩主となつた翌年の二月、そ  
れまで実際に藩政を見てきた直方藩主  
で実父の長清が死去し、後継者が無い  
ため直方藩は廃され五万石は本藩であ  
る福岡藩に返還され、家臣たちも福岡  
に移住、主として西新町あたりに居住  
した。

その年の五月、初めて江戸から福岡  
にお国入りをした継高は直ちに藩士を  
集め、勤務に精励するよう命じた後、  
すぐさま長崎警備に赴くなど忙しい日  
程をこなす。

継高の着任初頭は若年であったこと  
もあって藩政をあずかる重臣の間に反  
目、対立などあつてその間、財政は窮  
乏し、農村は疲弊、城下町は衰微する  
いつぽうと難題山積みの有様であった。

藩政の立て直しに着手した継高は、  
門閥家老を退け、吉田治年、栄年親子  
という実力者を抜擢、人事の刷新をは  
かるとともに農政については遠賀堀川  
の完成など治水、灌漑につとめ荒地の  
再開発を行い、若者を中心に新百姓を

取り立て農村の復興に力を注ぎ、年貢  
の収入増に努力をした。また宗像郡武  
丸村の正助を孝子の亀鑑として年貢米  
を免じその母の養育米を与えるなど気  
配りも示した。

都市政策についても商品流通の課税  
を整備、改善し経済的機能の回復をは  
かった。

家臣に対してもこと細かな僕約令を  
出し、一時勤休令、今でいう一時帰休  
を実施、参勤交代の供連れを減らすな  
ど支出の大巾削減をした。

反面、武芸を奨励、藩の刀工、信國  
重包が名工として幕府の表彰を受け藩  
主として大いに面目をほどこしたこと  
もあった。

まさに獅子奮迅の継高の治世に、自  
然災害や大火災が容赦なく次から次へ  
と襲つてくる。享保五年の荒戸の大火  
事から志賀島の火事、ついには福岡城  
内の出火で継高は自らが建てた田島の

別邸、友泉亭に避難したほどである。  
また江戸でも赤坂の中屋敷、桜田の上  
屋敷が類焼によつて焼失した。

そのほか暴風、大雨、洪水による田  
畠の浸水、家屋の流失、山崩れなど相  
次いで起る。

さらに享保十七年、前代未聞の大飢  
饉に襲われることになる。長雨と害虫  
発生で、米の収穫は平年の一割五分、  
七万石という凶作で飢餓と疫病の死者  
九万人。藩の人口の1/3を失う悲惨  
な結果を招く。後年、この時の死者の  
靈を弔うため飢人地蔵が各地に立てら  
れた。

藩や幕府の対策が及ばなかつた反省  
から継高は「用心除」という制度を作つ  
て米の備蓄につとめ、目安箱を作つ  
た。また人口減を防ぐため間引、捨子  
を厳しく禁じた。

筑前六宿の人馬賃の値上げを幕府に  
申請、しぶる幕府をうまく説得して成  
功するなど継高の政治的手腕を物語る  
業績も多い。

継高は初代長政が始めた「異見会」  
を毎月一回開いて家臣の意見もよく聞  
いたという。

継高は名君といわれながら、その治  
世は苦勞の連続であつた。子供は多  
かつたが長男重政は二十六歳、三男長  
経も二十二歳で亡くなり後継者に恵ま  
れず、一橋家の徳川宗尹の二男隼之助  
を養子に迎え、六十七歳で隠居、安永  
四年(一七七五年)六月十七日、福岡  
市内で逝去、七十三歳であつた。

# ご案内

黒田如水・長政の  
戰跡を訪ねる旅

企画・韓国に倭城を訪ねる旅  
同行解説

中村修身氏

(北部九州中近世城郭研究会会長)

期間: 平成二十二年三月二十六日(金)  
~二十九日(月)四日間

旅行代金: 五万八千円

訪問箇所

機張倭城(黒田長政)

南山倭城、順天倭城(小西行長)

西生浦倭城(加藤清正)

鎮海・海軍兵学校(亀甲船)

晋州(晋州城、博物館)

友鹿洞(沙也可村)

釜山市立博物館



お申し込み・お問い合わせ: 西日本新聞旅行  
TEL 092-711-5518

会員の声

市民大学終講にあたつて所感文

福岡に住んで半世紀、町の寺や神社に参拝するときも手を合わせて祈るのみで深く考えたことはありませんでした。日頃から使いなれた博多織や身近にある博多人形・時折家族で楽しむ博多伝統のガメ煮や珍しいと求めたオキュー。本当に生活に深く根ざした郷土の祭りや行事の根源と歴史に関係ない人生でした。七月から十一月の五ヶ月に亘り三十回の市民大学を受講して生ま  
れ変わった気がし頭の中が若々しい活気にあふれており  
ます。

五月間に亘り三十二回の講座を実施して終了しました。延五十五名の諸先生は郷土史を中心に研究資料を提出され最新の情報により熱心に講義されました。特に本年度は福岡市教育委員会の中堅職員で各地区の史跡、遺跡等を担当する七名の学芸員が日頃の研究結果と分析解説の成績を発表され、身近かに残る先人の遺跡を知る事ができました。郷土の文化産業、芸能等の自然科学部門は福岡市の図書館長等から市内に存在する豊富な資産の活用について指針を示されました。市民として遺産を守り伝えていくことの重要性を再認識しました。

伝統工芸部門では博多織人間国宝の小川先生から知識、技能習得の苦労と精進努力、更に日進月歩の世で博多織を守り伝えて行くことの大切さは、保守ではなく常に最新技術との融合を考えて行く積極進取な環境にあるとの貴重な教訓を頂きました。

力しあつて日々練習を積み重ねる事が重要との話を聞きました。現地研修は東区、中央区、博多区、西区について細部迄説明があり今後の勉強の参考となりました。昨年度の受講者や講義された諸先生との交流会は会場一杯の盛況で予想を超える好評を頂き同じ想いを持つ同志の絆を強固なものとしました。来年は更に参加者の増加が見込まれ会場の設定に

戦国の世、秀吉を天下人に押上げた軍師・黒田官兵衛（如水）のものがたり。

官兵衛は、どんな夢を描いていたのでしょうか。

ご家族でお読みください。

定価 本体一三六五円（税込み）

嬉しい苦労が予想されます。終業式は十一月末日に来賓の祝詞を頂きつつ晴れの修業証を手にされた六十二名の人が、巣立つて行かれました。これからも益々研究努力されて福岡市の魅力を多くの人達に伝えられるよう願つております。

能狂言の野村先生からは発声法の基礎から狂言の観劇法など伝統芸術にふれることができ感激しました。一個人としてこれだけの講師先生を受講しようとしたら、何年もかかり受講料も何倍かになつたと思います。勝手なお願いですが、福岡出身の人物について一項目をセツトしてください。事務局の人達の心温まる受入れとお世話に感謝しております。

今度は友達を誘つて一緒に受講したいと思っております。そのときはよろしくお願ひします。

平成二十二年度は更なる内容充実につとめて三期生を迎えるべく準備しております。

津田慶一



編集・発行:  
鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

住所:

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15  
福岡ビル7階

TEL:092-716-8238  
FAX:092 716 8254

HPアドレス:  
<http://fukuyokaiskousen.page.in/>

<http://lukuokajokorok>  
E-mail:

E-mail:  
fukuyokai@toshiba.co.jp

デザイン・印刷：S&Mトラスト株式会社

編集後記

平成二十一年の新年を迎えるにあたり、市民の会は十七年二月、NPO法人として発足以来目標に向かって、たゞひたすら一つの道を進んで丸五年になります。その間、市民の会をご支援くださいました会員の皆様方に事務局員一同心よりお礼申しあげます。これからも一丸となつて事業等に取り組んでまいります。ぜひ、会員の皆様方の声をお聴かせください。

一般会員（個人）

太田佑子　久山内保良　行二

机元浩一　山内憲良

正会員（団体）

ライオンズクラブ国際協会  
3371-A 地区41R

新規会員名簿

(平成22年1月8日現在)